

英検一級合格体験記

はじめに

40代半ばで、英語の勉強を再開した時の、最大の目標であった英検一級に合格できて本当に嬉しく思います。

二次試験には奇跡的に一回で合格できましたが、一次試験は、合格するのに5年、6回も落ちました。でも、「あの時もう少し頑張っていれば、今頃は…と、後悔しながら死ぬのは嫌だ!」という思いで、7回目にしてやっと合格しました。52歳でした。

留学経験もなく、思うにまかせない日々の生活に、埋没しそうになりながらも、なんとか、英検一級合格という目標に到達した私の体験が、今頑張っている誰かの一助になれば、幸いに思います。

きっかけ

実は、準一級に合格するまでは、私の目標は準一級でした。

しかし、いざ合格してみると、見える景色が変わりました。そして、一級の過去問を手にし、皆目見当のつかない大問1を見た時、この世界の向こうを見たい!と思いました。

〈一次試験〉

甘くない現実

準一級合格の勢いで受けた、一回目の受験は、当然のごとく惨敗。

三度目の受験で、6点不足の不合格Aとなり、ゴールは近い、と喜んだのも束の間、四回目、五回目はむしろ得点が下がってしまいました。

スランプというより、本当に力がなかったのです。今考えると、この時が、実力養成期間だったと思います。

このまま受験し続けてもお金の無駄遣い、と判断し、絶対に受かると思うまでは受験しない、と決めました。

とにかく諦めず、合格するまで絶対にやめない、と決めてはいましたが、それでも、目の前の、色々なことに振り回されて、思い通りに勉強できない、意欲がわからない、という状態にたびたび陥りました。

そういう時は、「私は神様じゃないんだから!」と開き直り、かなりマイペース(テキトウ)で過ごしました。暑くて頭が働かない夏の日などは、ただ単語を憶えるだけでした。それくらいなら出来ましたから、それでよしとしました。

地元の英会話スクール

そのような不安定な学習状態の中、合格するまでの長きに渡って、大きな支えになった

のが、初回受験の惨敗直後に飛び込んだ、前橋ランゲージアカデミーです。

大手とは違う、親密さ、臨機応変さが、勉強と心の支えになりました。

クラス仲間との意見交換や、発見や励ましが、本当に地道な、日々の勉強への意欲を押し上げてくれました。

TOEFLE TEST 問題集

この頃の悩みは、エッセイの書き方でした。

もちろん、参考書の説明は読みましたし、何度も練習で書き上げましたが、私には、それがエッセイの態をなしていると思えなかったのです。

どうにかしたい、と思っていた時、本屋で手に取ったのが、TOEFLE テストのライティング問題集でした。

私の知りたかったことが、私の頭でものみこめるように、懇切丁寧に、1 から 10 まで、噛み砕くように親切に書いてありました。心が一気に軽くなったのを覚えています。(合格した時も、結局エッセイが高得点だったからでした)

六 回 目

長い高原状態後、漸く自分にゴーサインを出し、受かるつもりで六回目のテストをうけました。しかしリスニングの最中にエネルギーが枯渇。四点不足の不合格でした。あと五歳若かったら…しみじみ思いました。

六回も落ちたら、もう受ける事自体、嫌になるかと思いきや、私を感じたのは「もういい加減受かろうよ！」という強い思いでした。日々の生活には、色々なことがおこるけど、そんなことには関係なく、もう落ちるのにも飽きたし！

救 世 主

それまで私は、所謂「対策本」的なものを、上手く自分の勉強に活かせずにはいましたが、ある日、本屋で偶然見つけた「英検一級 100 時間大特訓」は、私の救世主となりました！

「うん、そう、なるほど」と、頁を捲るごとに、頭の中が整理されていきました。

一年前の私なら、この本を読んでも、あまり活用出来なかったでしょう。まさに、ドンピシャのタイミングで出遭ったのでした。

今度こそ絶対に合格するぞ！

一次試験突破

七回目となる 2013 年第一回試験。

その頃から、20 点とるのは難しい、と言われるようになっていた、エッセイライティングで、22 点をとれたおかげで、やっと一次試験を突破しました！

エッセイライティングは、自己採点が難しいので、合格したかどうかはかなり不安でし

た。

あまり期待せずに見たネット速報に、合格の文字が。もの凄く驚きました。六回も不合格と言う文字を見てきたので、合格と言う文字が信じられませんでした。

「まだ続けてたんだ」という友達も、「あきらめるな！」と、応援し続けてくれた友達も、皆喜んでくれました。

私の戦績表

日付	2009 1/25	2009 10/18	2010 1/24	2010 6/13	2011 1/23	2012 10/14	2013 6/9
得点	47	57	71	60	61	77	82
合格点	78	76	77	77	77	81	78
備考	惨敗	少し進歩	まぐれ	高原状態	やみくも	ショック!	合格!

〈 二 次 試 験 〉

暗記は無理！

諸々の事情で、その回の二次試験は受けることが出来ず、第二回試験で二次をうけることになりました。

六回の失敗で、落ちることにうんざりし始めていたので、二次試験は絶対に一回で受かろう！と思いました。

ネットや本に載っている、主な二次対策は、出来るだけ多く（60!）のトピックで原稿を書いて暗記する、というものでした。

そのような暗記は、私には到底出来そうにありませんでしたが、とりあえず、10 くらいのトピックで原稿を作ってみました。すると、内容に幅がなく、アーギュメントもかなり弱い、ということが、ハッキリわかりました。

そこで、出来るだけ多様なトピックに対応できるよう、目に留まった、新聞や雑誌の記事を切り抜いたり、私の普段の生活には、直接関係のないような、専門性の高い分野にいる友達の話等を参考にして、自らのアーギュメントを強化することに努めました。

いずれにしても、どんなトピックが出るかなんて、分かりようがありません。後は、その場で、自分の言葉で喋ろうと決めました。

場慣れが必要

英検一級の二次試験は、二人の試験官を前に、一分で、初めて見た五つのトピックから一つを選んで、構成を考え、二分間のスピーチをする、というものですが、なにしろ、人前でのスピーチなど、成人してから一度もやったことがないので、まずは、場慣れが第一、ということで、友人、家族の前で、改まって喋る練習をしました。

突然、「ちょっといい？」と言われて、意味のわからない英語のスピーチを聞かされるのですから、皆迷惑だったでしょう。が、これで私なりの度胸がつきました。

本番リハーサルは、前橋ランゲージアカデミーのネイティブの先生にお願いしました。

これはスピーチ練習というより、スピーチ後の、質問を正確に聴き取り、答える為の練習でした。この時の練習が、合格へのキーポイントになりました。

二次試験は、まだ三回の猶予を残していましたが、一回で絶対に合格する！と、心に誓って試験に臨みました。

今まで生きてきた中で一番…

試験会場は神田外語学院、午後二時集合でした。

この二次試験で、私は数々の幸運(?)に恵まれました。

- ① ネットには、東京の一級試験会場は若い人が多く、その中には、余裕の帰国子女もかなりいる、などとあり、ちょっと気後れ気味だったが、控え室にいる時、偶然、隣の人が、私と一つしか年齢の違わないおじさん(失礼!)だと分かり、すっごく気が楽になった。
- ② 試験部屋の前の椅子で、順番待ちしている時、別の部屋からも、受験生の声が洩れて聞こえていたが、それが、かなりのジャパニーズイングリッシュで、「あれでもいいんだ〜」(またまた失礼!)と、落ち着くことが出来た。
- ③ いよいよ部屋へ入り、外国人の試験官を見たら、リハーサルをしてくれた、前橋ランゲージアカデミーの先生にそっくりだった。おかげで、スクールの教室にいるように落ち着けた。
- ④ 試験が始まり、トピックの書かれている問題用紙を裏返したら、いの一番目に、私が練習したトピックとほぼ同じものが!ほかの四つを見ることもなく、一分間落ち着いて構成を頭の中で確認できた。(正真正銘のラッキー!!)

スピーチは、ほぼ二分ぴったりで終わることが出来、そのあとの質疑応答も、借り物の言葉ではなく、自分の考えとして明確に答えられました。

部屋から出た時、こんなにもラッキーが続くことってあるんだな、と不思議でした。

会場の向かいの喫茶店で、待っていてくれた友達に「今までで一番良くできたよ!」と、言いました。その時の私の実力を、ほぼ出し切れた会心の出来でした。

結 果

自信はあったものの、全くの独りよがり、ということもけっこうあるのが試験。日増しに不安になっていく二週間でした。

結果は、スピーチ、質疑対応、文法語彙、発音、全て80%の出来の、80点、合格でした。

最後に

英検一級合格を目指して、頑張っている皆さん、何があろうと、諦めず、自分を信じて、合格を手にしてください。

前橋ランゲージアカデミーの先生、スタッフの皆さん、長い間、温かいサポートありがとうございました。

長くなってしまいましたが、最後に、私が取り組んだ本、いつもしている事、等を記しておきたいと思います。参考になることがあれば、望外の幸せです。

取り組んだ主な書籍

▼過去問

必須ですね。

▼PASS単熟語

出る順最短単熟語

忘れることは気にせず、何度でも繰り返し取り組む。

▼TOEFL TESTライティング問題集

英文エッセイの書き方を、基本から懇切丁寧に解説してくれる一冊。英検の参考書より、はるかに為になった！

▼英文法レベル別問題集（東進ハイスクール安河内哲也）

準一級受験時にやり直した。一級の読解問題は、精読と速読の両方が必要となる。正確な文章解釈が必須。

▼英検一級 100 時間大特訓

いい意味でのテクニック集。最後はこの本のおかげで、合格した、と言っても過言ではない。

▼National Geographic Scientific American

好きな分野で、素材を見つけて多読する。記事に関する問題が出ることもあった。

リスニング強化用

▼NHKラジオ Business in Action

NHKBS CNN NEWS ABC NEWS BBC NEWS PBS NEWS

一定のリスニング量を維持する。これを怠ると、英語に無縁な日常にいるので、リスニング力が、一気に落ちる。スクリプトの出る番組は、同じ速度で音読すると、リスニング力が向上する。